

平成 24 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード	020200	TEL	2998-9027
事業コード	補助金等審査事業	担当部課	政策企画課		
020208			グループ	事務管理・行政改革G	
開始年度		平成	13	年度	→
終了年度		平成		年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令	
	分野別計画・指針	第4次行政改革大綱				
	関連・類似事業					
	総合計画の体系	章	行財政運営	節	財政運営	基本方針
事業開始の背景	補助金等は年々増加傾向にあるが、厳しい財政状況の下、適正な予算執行を確保するため、個別補助金等について補助そのものを見直し、整理統合を積極的に進める必要が生じた。					

③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	補助金等の交付の適正化を図り、財政の健全化と行政運営の効率化を目指す。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 22 年度	664 件
	市が交付する補助金、交付金、負担金(法令上の義務に属するもの等を除く)			平成 23 年度	627 件
事業の具体的な内容及び実施方法	①補助金等審査委員会の設置(委員構成:委員長-副市長、委員-総合政策部長、財務部長、総合政策部政策企画課担任次長(参事を含む。)、財務部財政課担任次長(参事を含む。)) ②随時の補助金審査(現年度及び次年度対象)・・・新規、増額を求める補助金等について①にて交付の必要性の検証、適正化を図るため随時、審査する。 ③定期の補助金審査(次年度用審査)・・・継続的な補助金等について、①にて交付の必要性の検証、適正化を図るため定期的に審査する。 ④審査結果の実施計画への反映				

④経費	《会計種別》	一般会計	平成 22 年度 (千円)	平成 23 年度 (千円)	平成 24 年度 (千円)	
	当初予算					
	決算(見込み含む)					
	(非常勤特別職員)	(臨時の任用職員)	(人)	(人)	(人)	※「財源内訳」について平成24年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	正規職員人件費		0.25 人	2,315	0.59 人	
	事業費合計			2,315	5,423	
財源内訳	一般財源		2,315	5,423	0	
	国・県支出金					
	その他()					

⑤実績・成果	項目名	計算方法	単位	H 22	H 23	H24見込み	将来目標	
	活動実績	定期審査件数	件	13	15	15		
		随時審査件数	件	48	89	70		
	成果指標	定期審査の結果、見直しが行われた補助金	現年度予算額と次年度予算額を比較して減額になった補助金の件数	目標値	13	20	20	
				実績	4	1	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」の拡大を図る	
				%	達成率	30.8	5.0	<input type="checkbox"/> 「実績」の縮小を図る
昨年度中に改善した点								
補助金等審査委員会の実績について、随時分と定期分の2つに分けて一覧表による管理を行っていたが、随時分については、現年分と翌年分が混在していた。また、優先事業とその他についての区分けも無く煩雑であった。平成23年度からは、現年分と翌年分の切り分けで一覧表管理することにより、現年分、翌年分の審査を実施した補助金等の予算の合計額、優先事業の区分けを明確にすることにより、優先事業に係る補助金等の合計額を明確にした。								

⑥評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	方今向後の事業の活動(回数、範囲など)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
			事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他()
			次年度予算	<input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	評価理由と今後の方向性(課題と対応)			
新規および増額要求の補助金等については、その内容をすべて審査している。結果、達成率の上昇は見られなかったが、それだけ不要な補助事業の整理、統合が進んでいると考えられる。今後は、裁量の余地が無い補助金等を審査対象外にする等、審査対象を絞り込み、より効率的な審査に努めていく。				
事務改善ミーティングで示された意見とその対応				
評価日	H24.5.31	評価者職氏名	主幹 加藤孝之	

⑦環境影響	原因活動(適正な予算執行の確保)	原因活動(資料等の発行)	規制を受ける主な環境法令等の名称	
	<input type="checkbox"/> 計画的な財政運営	有害な環境影響(重大なものには○)	有害な影響を与える緊急事態の内容	
	有益な環境影響(重大なものには○)	天然資源(森林・化石燃料)の減少		<input checked="" type="checkbox"/>
		廃棄物の排出		<input checked="" type="checkbox"/>
	公害(大気汚染・騒音等)の発生	<input type="checkbox"/>		
	その他()	その他()	<input type="checkbox"/>	
	その他()	その他()	<input type="checkbox"/>	